

令和2年度都道府県及び生活習慣病検診等管理指導協議会（各がん部会）の活動状況調査

厚生労働科学研究費補助金(がん対策推進総合研究事業)「がん検診の適切な把握法及び精度管理手法の開発に関する研究」班では、「事業評価のためのチェックリスト(都道府県用)」の改定を検討しています。本調査は、現時点での改定案に基づきパイルオフ調査として実施するものです。

【本調査の対象年度について】

本調査の対象年度は以下のとおりです(令和2年度の担当者が把握可能な最新年度)。

- ※ 年度の対象年齢は、この表より、平成30年度の担当看護師可能な最新年度。

 - ①令和2年度の検体制（市区町村や検診機関のチェックリスト遵守状況）
 - ②平成30年度の検診のプロセス指標※
 - ※ プロセス指標に関する対象年度は、平成29年度または令和元も本調査では可とします。
（都道府県によっては直近の地域保健・健康増進事業報告書公示年）※前年の検診データを集計・分析しているため

【回答時の注意事項】

- ④の注意事項

 - 令和2年度の業務として行った内容（実績）に基づき、全ての項目にご回答ください。
 - 回答期限（令和8年8月）までに完了した場合は〇、回答期限以降に確実に予定了場合は△、未実施（今後も実施予定なし）の場合は×とご回答ください。
 - すべての市区町村あるいは検診機関で実施しているのみ〇とご回答ください。本調査における検診機関とは、実際に検査を行う個々の検診機関（医療機関）を指します。
 - 回答欄が検査方法（集団・個別）別に分かれている項目については、**集団/個別検査各の状況について**ご回答ください。
 - 「**集団検診と個別検診を実施しているが、プロセス指標値を検診方式別に集計していない**」場合は本調査では両回答欄に×とご回答してください。
 - 「**集団検診と個別検診を実施しているが、精度管理評価に関する検討を検診方式別に行っていない**」、本調査では両回答欄に×とご回答ください。
 - さらに、**胃**胃内視鏡検査回答欄が検査方法（エックス線／内視鏡）別に分かれている項目については、**エックス線と内視鏡各々の状況について**ご回答ください。
 - 「**胃部エックス線と胃部内視鏡検査を実施しているが、プロセス指標値を検査方法別に集計していない**」場合には、本調査では両回答欄に×とご回答ください。
 - 「**胃部エックス線と胃部内視鏡検査を実施しているが、精度管理評価に関する検討を検査方法別に行っていない**」場合には、本調査では両回答欄に×とご回答ください。
 - 対象年度の検査を実施していない場合は、ご回答不要です。【**通信欄**】にその旨をご記入ください。
 - 平成30年度（平成29年度または令和元年度）に胃部内視鏡検査をまだ開始していない（令和2年度には集計できるデータがまだない）場合にはプロセス指標に開設する設問には回答不要ですが、令和2年度の体制に関する設問間にご回答のうえ、【**通信欄**】にその旨をご記入ください。
 - ※2(1) 6(1)～6(4)、8(1)～8(2-1)、8(2)～8(4)、9(1)～9(1-1)、9(1-3)～9(2-1)、9(2-3)～9(4)、10(1)～10(1-1)、10(1-3)、10(1-5)～10(1-7)、10(2)

回答欄(水色のセル)に○、△、×のいずれかを入力してください

1. 生活習慣病検診等管理指導協議会の組織・運営		解説/回答基準 (令和2年度の実施体制についてご回答ください)	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
(1) がん部会は、保健所、医師会、がん検診連携学会に所属する学識経験者、臨床検査技師、診療放射線技師（※）等の、がん検診に係る専門家によって構成されていますか ※ 胃がん、肺がん、乳がん部会のみ	①すべての関係者が揃っているのが望ましいですが、少なくとも医師会が参加している場合は〇とご回答ください ②専門家による精度管理の協議が行われている場合には、異なる名称であっても生活習慣病検診等管理指導者協議会（各がん部会）の活動とみなしてご回答ください	○	○	○	○	○	○
(2) がん部会は、市区町村が策定した検診実施計画／検診体制等について、検診が円滑に実施されるよう、広域的見地から医師会、検診機関、細胞診判定設置（※）、精密検査機関等と調整を行なったか ※子宮がん部会のみ	専門家による精度管理の協議が行われている場合には、異なる名称であっても生活習慣病検診等管理指導者協議会（各がん部会）の活動とみなしてご回答ください	○	○	○	○	○	○
(3) 令和2年度のがん部会を開催しましたか	①適切な検討を行うには委員同士の意見交換が必要なため、本調査では「協議」が行われている場合のみ〇とご回答ください ②オンライン開催の場合は委員の協議が行われていれば〇とご回答ください ③書面やメールによる持ち回り決議では協議が行われないため×とご回答ください	○	○	○	○	○	○
(4) 年に1回以上、定期的に生活習慣病検診等従事者講習会を開催しましたか	①生活習慣病検診等管理指導協議会から委託を受けた外部機関（例：対がん協会支部など）が開催している場合も〇とご回答ください ②オンライン開催や、動画配信（一定期間を設けて自由に視聴する形式）による講習会でも〇とご回答ください ③資料配布のみの場合は×とご回答ください	○	○	○	○	○	○

回答欄(水色のセル)に○、△、×のいずれかを入力してください。

2. 受診者数・受診率の集計	解説/回答基準 (令和2年度の実施体制についてご回答ください)	胃がん (エックス線)		胃がん (内視鏡)		大腸がん		肺がん		乳がん		子宮頸がん	
		集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
(1) 令和2年度 の対象者数（推計でも可）を把握しましたか	がん検診全体で集計していれば○とご回答ください	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
(2) 平成30年度の受診者数・受診率を集計しましたか		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
(2-1) 平成30年度の受診者数・受診率を性別（注1）・年齢5歳階級別に集計しましたか	①都道府県の方針により、「地域保健・健康増進事業報告」の公表値（3年前）や、1年前のデータを分析対象にしている場合も○とご回答ください。	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
(2-2) 平成30年度の受診者数・受診率を市区町村別に集計しましたか	②(2)-(2-1)・(2-2)の受診率集計については、分母（対象者数）を分けて把握できないため、がん検診全体で集計していれば○とご回答ください	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
(2-3) 平成30年度の受診者数を検診機関別に集計しましたか		○	×		×	○	×	○	×	○	×	○	×
(2-4) 平成30年度の受診者数を過去の検診受診歴別（注2）に集計しましたか		○	×		○	○	×	○	×	○	×	○	×

回答欄(水色のセル)に○・△・×のいずれかを入力してください。

回答欄(水色のセル)に○、△、×のいずれかを入力してください

回答欄(水色のセル)に○、△、×のいずれかを入力してください

6. 偶発症の把握		解説/回答基準 (令和2年度の実施体制についてご回答ください)	胃がん (エックス線)	胃がん (内視鏡)	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
(1)	検診中/検診後の重篤な偶発症を把握しましたか ※ 大腸がん検診除く ※ 入院治療を要するもの	①(1)～(4)の4項目は、次の方法によって把握が可能です ・厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」の「偶発症の有無別人数」を基に集計する。 ・主要な医療機関（検診や精密検査を担当する機関）に、検診対象者の検査・治療における偶発症を報告するための依頼文書（注4）を送付し、その報告書を基に集計する	○	○	斜線	○	○	○
(2)	検診中/検診後の偶発症による死亡を把握しましたか ※ 大腸がん検診除く ※ がんの見逃しによるものを除く	②偶発症例は以下のとおりです ・検診中/検診後の重篤な偶発症 胃がん：消化管穿孔／腸閉塞／薬剤やバリウムに対する過敏症またはショック／輸血や止血処置を伴う消化管出血／検査中の転倒による骨折等、がんが、検査中の圧迫による骨折等、子宮頸がん：細胞採取後の子宮底部からの多量出血等 ・精検中/精検後の重篤な偶発症 胃がん：消化管穿孔／前投薬に対する過敏症またはショック／鎮静剤等による重篤な呼吸抑制／意識障害／輸血や止血処置を伴う消化管出血等、大腸がん：輸血／手術を要する程度の腸管破裂／腸管穿孔／前投薬による因性ショック／腹膜炎等、肺がん：経皮的肺穿刺等や気管支鏡による多量出血／検査後の気胸等、乳がん：穿刺吸引細胞診や針生検による大量出血／肺損傷等、子宮頸がん：組織診後の多量出血／検査後の骨盤内感染症等	○	○	斜线	○	○	○
(3)	精密検査中/精密検査後の重篤な偶発症を把握しましたか ※ 入院治療を要するもの		○	○	○	○	○	○
(4)	精密検査中/精密検査後の偶発症による死亡を把握しましたか ※ がんの見逃しによるものを除く		○	○	○	○	○	○

回答欄(水色のセル)に○、△、×のいずれかを入力してください						
7. 追加調査	解説/回答基準 (令和2年度の実施体制についてご回答ください)	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
(1) 発見がんの病期/進行度・組織型・治療法について把握しましたか		×	×	×	×	×
(2) がん登録を活用して、感度・特異度の算出や、予後調査ができるような体制を作っていますか		×	×	×	×	×

回答欄(水色のセル)に○、△、×のいずれかを入力してください

回答欄(水色のセル)に○、△、×のいずれかを入力してください

「10.評価と改善策の公表」で公表済み（〇）と回答された場合	
11. 主要な情報を公開しているホームページのアドレス（URL）を記入ください	
胃がん	
大腸がん	
肺がん	
乳がん	
子宮頸がん	

ご記入いただいたURLは、国立がん研究センター等のHPに掲載する場合がありますが（リンク紹介ページ等）、掲載にご了承いただけない場合は、連絡事項欄（次ワークシート）にその旨ご記載ください。

- (注1) 乳がん検診、子宮頸がん検診は除く

(注2) 初回受診者及び逐年健診受診者等の受診歴別
　　＜初回受診者の定義＞
　　・過去3年に受診歴がない者（胃がん※/大腸がん/乳がん/子宮頸がん）
　　・前年に受診歴がない者（肺がん）
　　※過去3年内に胃部エクソマシン検査と胃内視鏡検査のいずれかの受診歴がない者（平成27年度以前の胃内視鏡検査は検診受診歴に含めない）

(注3) 精検受診、精検未受診、精検未把握の定義
　　【精検受診】 精検機関より精検結果の報告があったもの。もしくは受診者が詳細（精検日・受診機関・精検法・精検結果の4つ全て）を申告したもの
　　【精検未受診】 要精検者が精検機関に行かなかったことが判明しているもの（受診者本人の申告及び精検機関で受診の事実が確認されないもの）及び精検として不適切な検査が行われたもの（たとえば便潜血検査の再検、喀痰細胞診要精検者に対する喀痰細胞診再検、ASC-USを除く要精検者に対する細胞診のみの再検など）
　　【精検未把握】 精検受診の有無が分からぬもの及び（精検受診したとしても）精検結果が正確に報告されないもの

なお、置内裡検査では下記の整理とする

　　【精検受診】 内視鏡検診時に同時に生検したもの、および、ダブルチェックで再検査となり再検査を受診したもの
　　【精検未受診】 再検査を受けなかったことが判明しているもの
　　【精検未把握】 再検査受診の有無が分からぬもの及び再検査の結果が正確に報告されないもの。ただし、同時に生検で病理組織診断が不明（未報告を含む）な場合は、精検未完了と考え、地域保健・健康増進事業報告では「精検受診、かつ、がん疑い又は未確定」として計上する

(注4) 依頼文書の範型は「自治体のためのがん検診精度管理支援のページ」 <http://nxo.ip.nccsor-commu/> に掲載